



アパレル

流通

## SUBJECT

購入者の利便性を最優先した品揃え  
膨大な在庫保有の弱点だった保管効率と  
受注処理能力を向上させたい

## RESULTS

一日あたりの処理能力が  
移転前よりアップ



生産性

1注文を約2点と換算すると、  
オートストアの受注処理件数  
は、一日あたり3,600件に上  
り、従来型のピッキングと合わ  
せて合計6,000件の処理が可  
能となりました。

30%↑

平置き保管の倉庫時  
と比較して



保管効率

120万点にも及ぶ在庫数で、倉庫は  
飽和状態に。時には複数の倉庫に分  
かれて保管していましたが、新セン  
ターに集約。在庫の3割にあたる商  
品数の保管をオートストアが担い、  
保管効率が4~5倍に向上しました。

4倍



## 株式会社 白鳩

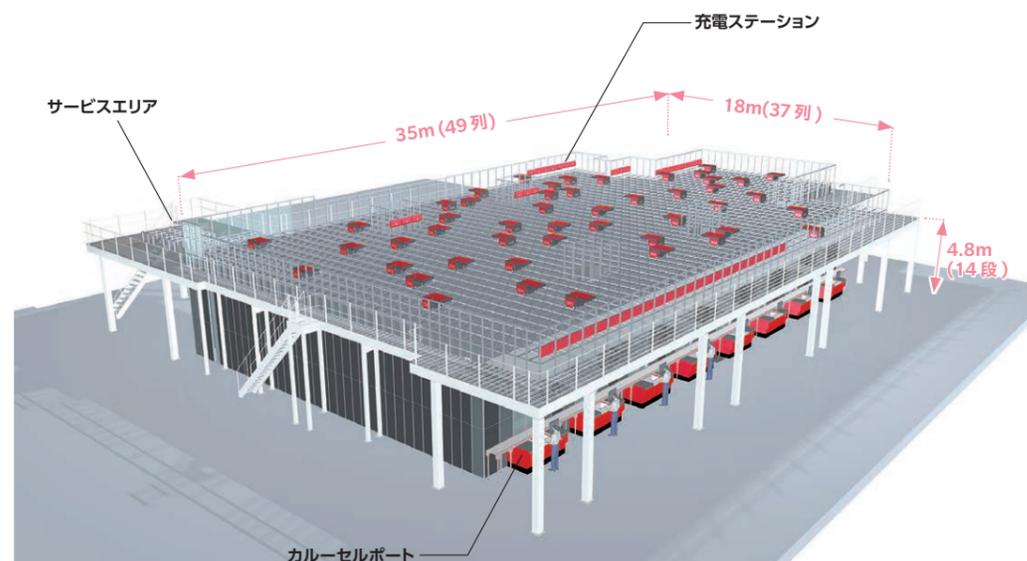
本社屋兼物流センター

### 拡大するEC需要に対峙する新社屋兼物流センター

インナーウェアECを手掛ける白鳩様は、2020年8月に本社屋兼物流センターを  
新設されました。同社にとって5回目の移転となるその背景には、顧客の利便性を  
優先し、在庫を多数抱える販売方式を取っている点にあります。主力製品の女性用  
下着ではカラー・サイズ共にバリエーションも豊富に揃え、その在庫数は120万点  
にも及びます。在庫保有による迅速な発送が強みであった白鳩様が、膨大に増加  
する在庫量と迫られる効率化への解決策として導入されたのがオートストア。大容  
量のストレージだけでなく、高く評価されたのが、そのピッキング性能です。48台  
のロボットが注文された商品の入ったピンをポートまで運ぶので歩き回ることがな  
く、知識や熟練度に左右されないピッキング作業で、処理件数は移転前より大幅に  
向上しました。またメーカーとの連携で、入荷した箱をそのままピンに入庫するなど  
運用改善にも積極的で、オートストアと共にさらなる効率化を進められています。

|      |                      |
|------|----------------------|
| 所在地  | 京都府京都市伏見区竹田向代町 22 番地 |
| 延床面積 | 15,300㎡ (5 階建)       |
| 竣工   | 2020 年 8 月           |

|             |   |
|-------------|---|
| Robot       | ロボット台数<br><b>48 台</b>   |
| Port        | カラーセルポート<br>入出庫兼用 <b>8 か所</b>   |
| Bin         | ピン数<br><b>19,656 箱</b><br>330ピン / 14段積み   |
| Performance | 入庫能力<br><b>104 (計算値) ピン/時間</b><br>出庫能力<br><b>1,096 (計算値) ピン/時間</b><br>※入庫1ポート、出庫7ポートで<br>運用した場合 |



在庫の3割にあたる約3万SKUの商品を格納



床から隙間なく積み上げられたピン(コンテナ)



入出庫作業を行うポート(ピッキングステーション)

写真上 / 高頻度オーダー商品が  
上段に集約されていく仕組みや  
事前にオーダー情報を送信し、  
作業前に上段に集約する運用で  
スピーディーな出庫を実現。

写真左 / 密閉された状態で格納  
されるため、セキュリティや衛生  
面にも配慮。手前には将来の増  
設スペースを確保。写真右 /  
次々とピンが運ばれてくるポ  
ートでは、担当者がその場を動く  
ことなく、商品の補充・ピッキ  
ングを行っている。